

## パブリックコメント（市民意見の募集）の結果について

案件名	矢板市 D「X」未来計画（案）のパブリックコメントについて
-----	-------------------------------

今回公表しました上記の計画等（案）に対する意見募集の結果は、次のとおりです。

提出人数	5人
意見の件数	14件

上記に対する公表資料及びパブリックコメントの概要は以下のとおりです。

公表資料	ご意見及びご意見に対する市の考え方
募集期間	令和8年1月23日 から 令和8年2月23日まで（募集終了）
担当課	総合政策部総合政策課（電話 0287-43-1170） 〒329-2192 矢板市本町5番4号
募集の趣旨	矢板市では、令和4年11月に策定した本市のDX推進計画である、「矢板市デジタル戦略」を策定し、DXの推進を図ってまいりました。 矢板市デジタル戦略の計画期間が令和7年度までであること、また、DXによって目指す矢板市の未来像を明確化するため、この度見直し策定を行います。 計画の策定に当たり、この案を公表し、市民の皆さんの意見を募集します。 意見の概要や意見に対する市の考え方などについては、後日公表します。
募集に係る 公表資料	1 矢板市 D「X」未来計画（案）
資料の閲覧	次の場所で資料が閲覧できるほか、市のホームページに掲載します。 ・総合政策部総合政策課（土曜日、日曜日、祝日を除く。） ・矢板公民館／泉公民館／片岡公民館（月曜日、祝日を除く。）

パブリックコメントに関する提出意見とそれに対する市の考え方

<b>案件名</b>	矢板市 D「X」未来計画（案）のパブリックコメントについて
------------	-------------------------------

今回公表しました計画等（案）に対する貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。  
お寄せいただいたご意見を十分検討した結果、それに対する市の考え方は、次のとおりです。  
なお、類似の意見については、内容ごとにまとめさせていただきました。

項 目	意見の内容	意見に対する考え方
第1章 はじめに	4 ページの DX とは？で、住民本位・行政（市職員）本位のワードが抜けていると考えます。（上記が抜けるとDXでない。）	「DX とは？」は、5 ページと合わせての説明となっており、「市民や事業者、職員にとっての価値を高めるため」、「“技術のためのDX”ではなく、“人のためのDX”」と記載しておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。
第1章 はじめに	全体として納得感のある計画ですが、計画の実効性を高めるために、以下の視点を盛り込むことを提案します。 ・DX が必要になる社会的背景(このままだと行政機能ががそもそも立ちいかなくなる)もより具体的に計画に明記された方がよいと考えます。特にいわゆる 2040 年問題に対処するために今から手を付けないと間に合わない、生き残りのためにデジタルを使っていく、というストーリーを市内全体で共有することが極めて重要と考えます。	いただいたご意見を参考に 7 ページの文章を修正いたします。
第1章 はじめに	高齢者、デジタルに不慣れな市民	デジタルに不慣れな市民への配慮

	への配慮を明確に記載し、使えない市民が悪いとならない設計思想の明文化を追記願いたい。	は、8 ページにて記載しておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。
第2章 体制と手順	12 ページのロードマップについて、2030 年（ゴール）までのガントチャートのような詳細項目と年月スケジュールの記載→可視化し進捗評価ができる様にすべきではと考えます。（別詳細ページを追加する）	デジタル技術は日進月歩のため、具体的な施策やスケジュール等については、別冊で管理予定です。
第3章 コンセプト・ビジョン	2030 年の目指す姿は、記載されているが、DX 化による目的が不明瞭でヨユウをつくる、やさしさを生み出す、共にはぐくむは、ある意味目的とも取れますが、目的達成の手段かと思えます。 “住民の利便性向上”と“業務効率化による市職員の負担、人手不足の軽減・解消”による「市民ファーストの行政」の達成が、目的かと考えます。	いただいたご意見を参考に 16 ページ～22 ページの上部説明を整理・修正いたします。
第4章 施策体系	24 ページの各施策に追加してほしい ・行政内部DX に、リスキリングによる人材育成が急務を追記願いたい ・行政内部DX に、RPA の導入を追記願いたい ・まち・暮らしのDX に、通学路や学校近くに見守りカメラの設置を追記願いたい ・共創DX に、デジタル庁、県、他自治体との情報リンクによる共創プラットフォームを使用し向上を	第4章は、目的達成のために必要と考えられる施策を例示するパートとなっているため、いただいたご意見は、今後の施策の参考とさせていただきます。

	<p>追加願いたい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共創DXに、アナログ規制の見直しを追加願いたい</li> </ul>	
第4章 施策体系	<p>28 ページの「デジタル技術で市民参画を促進する開かれたまちづくりを実現します」に追加してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「検討します」と答弁されたことの進捗可視化をDX化し市民参画、市民ファーストで進捗状況をわかるようにする</li> <li>・議会の際、行政側職員、議員と同様の DATA、資料をリアルタイムで投影開示等願いたい</li> </ul>	
第4章 施策体系	<p># 市民サービス DX</p> <p>抽象度が高い相談ごとに対して、何課に相談すればいいのかわからないことがあります。オンライン窓口を設置するのであれば、何課に相談できることや、相談予約ができるとう嬉しいです。</p>	
第4章 施策体系	<p># 行政内部 DX</p> <p>人事異動のタイミングで担当者が変わると、方針などが大きく変わることがあります。そのため、引き継ぎ業務についてもDXを促進していただきたいです。</p>	
第4章 施策体系	<p>#まち・暮らしのDX</p> <p>ぜひスマート観光案内を推進していただきたいです。多くの場所が訪れる道の駅や市内宿泊事業者への連携をお願いしたいです。廃校に宿泊していただいたお客様に口頭で案内するのに限界があり、か</p>	

	<p>なりの機会損失になっていると思います。</p>	
第4章 施策体系	<p># 共創 DX</p> <p>市民が行政サービスに協働できる仕組みとして、デジタルに限らずアイデア会議などを実施してほしいです。</p> <p>また高原山周辺の他自治体、企業等との協議体の発足を実施してほしいです。市の面積の約半分が山林となりますので、それを観光資源や体験資源として活用するきっかけを作って欲しいです。</p>	
第4章 施策体系	<p>29 ページの「デジタルツールを活用して「必要な情報が手元に届くスマート広報」を実現します」に追加してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時の防災無線に加え SNS (LINE 等) での同時発信</li> </ul>	<p>LINE の公式アカウントで登録いただくことにより、すでに実装しております。</p>
第4章 施策体系	<p>矢板市の公式ラインに熊出没情報があるが、災害情報についても検討して頂きたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;情報例&gt;浸水・洪水・冠水、地割れ・地盤沈下・隆起、がけ崩れ・地すべり・崩落、倒木墾・フェンス倒壊、その他の危険発生場所</li> <li>・&lt;見るだけ機能&gt;アプリを入れた人は、どこからでも、誰でも見る事が可能</li> <li>・&lt;投稿&gt;一般市民からの投稿を協力してくれる人は、事前に登録制にする (信頼性の確保)</li> <li>・&lt;位置情報&gt;スマホ等の GPS 位置</li> </ul>	<p>市民の方からの通報機能など、いただいたご意見の一部は、既に実装しております。</p> <p>実装していないものにつきましては、今後の施策の参考とさせていただきます。</p>

	<p>情報から被災場所を特定する。 GPS 付きのデジカメの場合は、パソコンからでも投稿が可能。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・&lt;投稿データ&gt;写真・短時間動画・文字情報</li> <li>・&lt;登録対象条件&gt;矢板市に居住・通勤・通学・親族などの近親者が市内に居住して定期的に訪問している人</li> <li>・&lt;更新情報&gt;災害などで投稿された場所が継続的に被災状態となっており、復旧されていない場合は、『いいね』や『参考になった』などの投稿を誰もが出来る様にする。復旧された場合は、『復旧』や『解除』などの投稿を誰もが出来る様にする。一定期間は、記録を残して再確認出来る様にする。</li> </ul>	
第4章 施策体系	室内温水プール施設をつくってほしい	施設整備のご意見と捉えさせていただき、関係部署と共有させていただきます。
意見総数	14件	